

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和5年1月16日

協議会名:土佐清水市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)足摺交通	立石～下ノ加江市民センター～下浦バス停～市街地(26.5キロ)	沿線の地域サロンにて『おでかけ号』の乗り方教室の実施や、公共交通についての資料の配布、交通事業者の取り組みにより、利用者数の増加につながった。 現在公共交通の空白地を解消するために有償運送などの取組や路線バスとの連携も含め取り組んでいるが、乗り換えのしやすさや便数の制限などの課題が残っているため、住民のニーズ把握を行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標達成率】110.2% (目標:49便/月、実績:54便/月) 【利用者数】958人 (前年比117.4%、前々年比98.7%) 【運行収入】349,650円 (前年比:84.9%、前々年比78.2%) 【収支率】4.5%(前年比:5.8%、前々年比5.7%) 運行収入は減少しているが、エリア内での学校通学利用増加などにより利用者数や便数は前年度よりも増加し、目標達成となった。	エリア内など近場での運行利用を増やしていくことで、さらなる収益が見込まれる。アンケート調査でのニーズの把握や、広報周知、『おでかけ号』の乗り方教室の実施で、地域の公共交通について知ってもらおう活動を行う。
龍串見残観光ハイヤー(有)	有永～下川口市民センター～下川口漁協前バス停～市街地(47.4キロ)	沿線の地域サロンにて『おでかけ号』の乗り方教室の実施や、公共交通についての資料の配布、交通事業者の取り組みにより、利用者数や運行収入の増加につながった。 現在公共交通の空白地を解消するために有償運送などの取組や路線バスとの連携も含め取り組んでいるが、乗り換えのしやすさや便数の制限などの課題が残っているため、住民のニーズ把握を行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標達成率】105.2% (目標:96便/月、実績:101便/月) 【利用者数】2,891人 (前年比108.6%、前々年比135.8%) 【運行収入】1,113,150円 (前年比:105.5%、前々年比121.5%) 【収支率】5.8%(前年比:5.4%、前々年比4.8%) 新たな停留所を設けたことも加わり、利用者数、運行収入ともに増加し、運行回数についても目標達成となった。	地域の公共交通についての広報周知、『おでかけ号』の乗り方教室の実施やアンケート調査などをとおし、さらなる利用者の増加を目指す。
龍串見残観光ハイヤー(有)	三崎バス停～上野・斧積～三崎バス停(13.8キロ)	沿線の地域サロンにて『おでかけ号』の乗り方教室の実施や、公共交通についての資料の配布、交通事業者の取り組みにより、利用者数や運行収入の増加につながった。 現在公共交通の空白地を解消するために有償運送などの取組や路線バスとの連携も含め取り組んでいるが、乗り換えのしやすさや便数の制限などの課題が残っているため、住民のニーズ把握を行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標達成率】111.1% (目標:45便/月、実績:50便/月) 【利用者数】923人 (前年比115.2%、前々年比116.6%) 【運行収入】70,050円 (前年比:103.9%、前々年比102.5%) 【収支率】0.3%(前年比:0.3%、前々年比0.3%) 利用者数、運行収入ともに増加し、運行回数についても目標達成となった。	地域の公共交通についての広報周知、『おでかけ号』の乗り方教室の実施やアンケート調査などをとおし、さらなる利用者の増加を目指す。